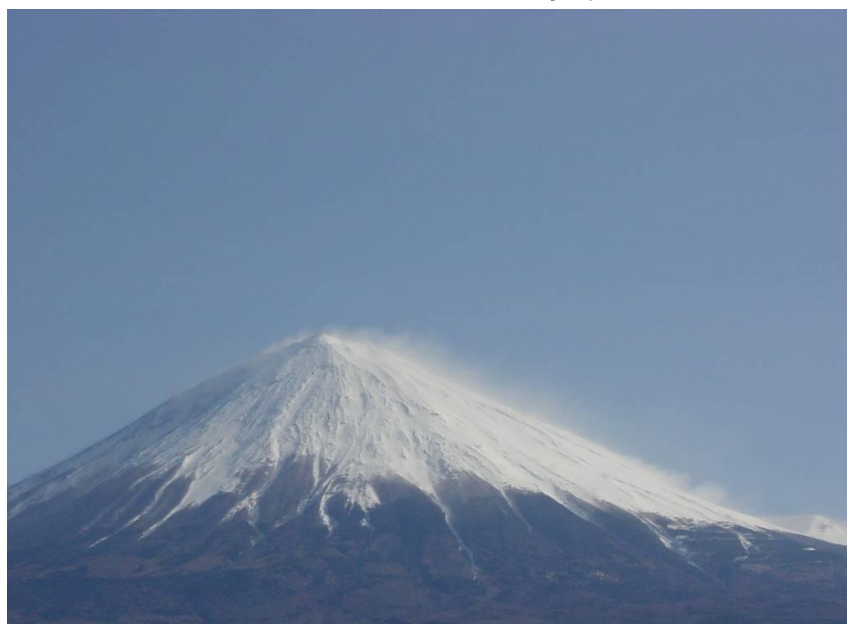


環境経営レポート

2019年度



(富士山世界文化遺産登録)

E A 2 1

対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日

発行日 2020年6月1日

カナエ工業株式会社

静岡県富士宮市万野原新田 3680-9

目 次

①. 組織の概要	1
(事業者名、所在地、事業の概要・規模等)	
②. 対象範囲（認証・登録範囲）	1
③. 環境経営方針	2
④. 環境経営目標	3
⑤. 環境経営計画	4
⑥. 実施体制	6
⑦-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績	7
⑦-2. E A 2 1 環境負荷の実績（推移）	8
⑦-3. E A 2 1 環境負荷の実績（グラフ）	1 0
⑦-4. 環境経営目標・計画の実績・取組結果とその評価 . . .	1 1
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	
⑧. 環境関連法規などの遵守状況の確認	1 8
評価の結果、違反、訴訟有無	
⑨. 代表者による全体の評価と見直し・指示	2 0

①. 組織の概要

1. 事業所名及び代表者

事業者名 : カナエ工業株式会社

代表者 : 代表取締役 清 行雄

2. 所在地

本社 静岡県富士宮市万野原新田 3 6 8 0-9

御殿場事業所 静岡県御殿場市中畑 1 4 9 1

3. 事業の概要

輸送用機械器具製造業

自動変速機用部品、燃料給油用パイプ部品、エアバック用部品等の生産

4. 事業規模

	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上	百万円	8,675	9,628	8,570
従業員数	人	245	244	249 (17)
床面積	m ²	13,415	13,415	17,025 (3,610)

※(内 御殿場事業所)

※従業員数は各年度末…常勤役員、パート、技能実習生、派遣社員を含む

5. 環境経営に関する組織体制

環境管理最高責任者 : 代表取締役社長 清 行雄

環境管理責任者 : 取締役経営管理部長 木内友明

E A 2 1 事務局 : 総務主担 松永庄一

環境活動推進者 : 全従業員

連絡先 : 電話 0544-22-1271

: fax 0544-23-8744

②. 対象範囲（認証・登録範囲）

本社工場・御殿場事業所の全活動が対象範囲

※2018年3月開設の”御殿場事業所”については
2019年4月より認証対象範囲とし、その数値を加えるものとする。

認証・登録日 2006年07月20日

更新・登録日 2018年07月20日

有効期限 2020年07月19日

③. 環境経営方針

カナエ工業株式会社は『経営理念』に基づき、事業活動を通じて全ての社員が自主的、積極的に環境負荷の継続的な削減に取り組んでいます。

経 営 理 念

すべての社員が 誇りをもって挑戦し お客様に感動を提供する

力 = 感動の提供
ナ = 納得の仕事
エ = 永遠の挑戦

環境経営方針

【環境経営理念】

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、本業である自動車部品の生産を通じて、地球温暖化問題への取組や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

【環境保全への行動指針】

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質については適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した製品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

(年度初めの全員集会にて環境管理責任者より全従業員に周知)

制定日 2018年4月1日

カナエ工業株式会社

代表取締役社長

清 行雄

④. 環境経営目標

項 目	単 位	2018年度 基準実績	2019年度 目標値は 2018年度 基準実績の	2020年度 目標値 2018年度 基準実績の	2021年度 目標値 2018年度 基準実績の
		100%	99.0%	98.0%	97.0%
①二酸化炭素排出量削減	Kg-Co2	4,555,986.30	4,510,426.44	4,464,866.57	4,419,306.71
購入電力	KWh	7,011,422.50	6,941,308.28	6,871,194.05	6,801,079.83
灯油	ℓ	12,459.00	12,334.41	12,209.82	12,085.23
A重油	ℓ	47,340.00	46,866.60	46,393.20	45,919.80
プロパンガス	k g	324,411.00	321,166.89	317,922.78	314,678.67
L P G	k g	20,480.50	20,275.70	20,070.89	19,866.09
ガソリン	ℓ	12,075.95	11,955.19	11,834.43	11,713.67
軽油	ℓ	1,378.14	1,364.36	1,350.58	1,336.80
②化学物質の削減 メッキ工程で排出されるP R T R対象物質（亜鉛の水溶性化合物、クロム及び3価クロム化合物、6価クロム化合物）については取引先の仕様により削減が困難な為、日常における「適正管理」を目標とし、排出量が多い（水酸化ナトリウム、硝酸、硫酸）について、以下の削減目標を掲げて取り込みを行う。					
水酸化ナトリウム	k g	10,850	10,742	10,633	10,525
硝酸	k g	1,225	1,213	1,201	1,188
硫酸	k g	8,100	8,019	7,938	7,857
③総排水量の削減	m ³	23,100	22,869	22,638	22,407
④産業廃棄物合計の削減					
廃プラ・木屑	t	30.04	29.74	29.44	29.14
スラッジ・汚泥	t	43.5	43.1	42.6	42.2
廃油	t	34.4	34.1	33.7	33.4
⑤自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善					
顧客要求の環境配慮に資する製品対応	%	100.0	100.0	100.0	100.0

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.475 kg-Co2/Kwh（東京電力2018年度実排出係数）

⑤. 環境経営計画

※月平均目標値は2018年度基準実績の99%

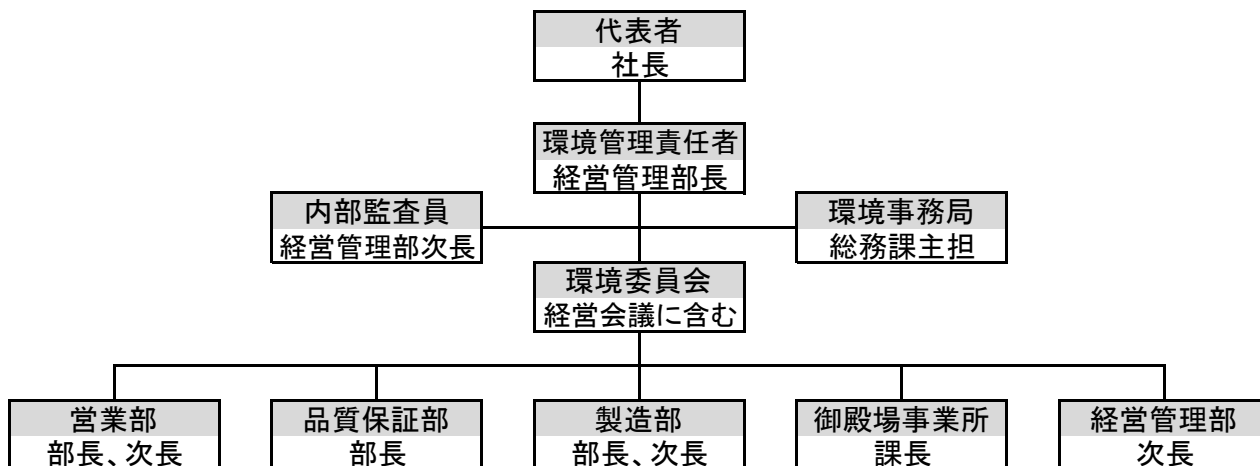
2019年度 環境活動計画 (期間 2019/4～2020/3)	月平均 目標値	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電力使用量の削減	578,442kwh													
冷暖房基準（冷房28℃、暖房20℃）を徹底 ➤Tシャツ・ポロシャツ促進		環境事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
冷暖房の効率UP ➤空調機の清掃による効率UP		環境管理責任者指示			○					○				
パソコン・複合機等の節電モード設定		全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未使用機械の待機電力削減														
休憩時間・不要時の消灯徹底														
業務の効率化を推進し残業を減らす		全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
圧縮空気のエア漏れ点検		製造係長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補助金を利用したLEDライト化展開		製造部		○							○			
車両燃料（ガソリン・軽油）の削減	1,109ℓ													
急発進、空ぶかしの禁止		全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車両に不要なものは載せない														
水使用量の削減	564㎡(2ヶ月毎)													
水漏れ箇所の把握と対策		総務主担	○			○			○			○		
節水表示による周知														
廃棄物（廃プラ・木屑・混合物）出量の削減	2,478kg													
廃棄物のリサイクル化 随時		総務主担	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃油を分別して再利用 製造部担当 随時		製造部担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化学物質使用削減	適正管理													
化学物質最適使用量の検討（苛性ソーダ等）		メッキ担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッキ工程の化学薬品は日常管理で行う														
コピー用紙の削減	未確認													
電子文書（PDF）化の促進 各係長 随時		各係長												
会議資料のプロジェクター活用 各係長 随時		各係長												
社内ネットワークの有効活用（ペーパーレス）		各係長												
製品の環境性能の向上														
顧客要求の環境配慮に資する製品要求		製造部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※月平均目標値は2018年度基準実績の99%

2019年度 環境活動計画 (期間 2019/4~2020/3)	月平均 目標値	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境への取組周知														
年度全員集会にて環境への取組周知		環境事務局	○											
その他活動														
防災訓練での安全防護対策		自衛消防 [^] 防護班 自衛消防 [^] 消火班 全従業員						○						
地域環境活動への参加		全従業員	随時											
事務用品等ワンフロアー共有化		5S担当	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務用品等のワンベスト化継続		全従業員												
E A 2 1 内部監査の実施		環境管理責任者		○										
中産連の"VMプレミアム本賞"受賞に向けた展開	VMプレミアム 本賞	5S推進室 全従業員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

⑥. 実施体制

➤環境経営組織図及び役割・責任・権限表



※2019年4月より

	役割・責任・権限
代表者（社長）	➤環境経営に関する統括責任
	➤環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	➤環境経営方針の策定・見直し
	➤環境経営目標・環境経営計画書を承認
	➤代表者による全体の評価と見直し、指示
	➤環境経営レポートの承認
環境管理責任者	➤環境経営システムの構築、実施、管理
	➤環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	➤環境経営目標・環境経営計画書を確認
	➤環境活動の取組結果を代表者へ報告
	➤環境経営レポートの確認
環境事務局	➤環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	➤環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	➤環境活動の実績集計
	➤環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	➤環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	➤環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	➤環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
環境委員会	➤環境経営計画の審議
	➤環境活動実績の確認・評価
部門長	➤自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	➤自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	➤自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査員	➤環境に関する内部監査の計画
	➤環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	➤環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	➤決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

⑦-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績

項 目	単位	2018年度 基準実績	2019年度 目標値は 2018年度 基準実績の	2019年度 実績	2019年度 実績と 2018年度 基準実績 との比較 値	判定 基準※2	目標未達の 要因	原単位 売上比率 に変換 ※1
		100%	99.0%		89.0%			
売上高	百万円	9,628		8,570	89.0%			
①二酸化炭素 排出量削減								
購入電力 ※3	KWh	7,011,422	6,941,308	6,153,731	87.8%	○		98.6%
灯油	ℓ	12,459	12,334	10,573	84.9%	○		95.4%
A重油	ℓ	47,340	46,867	46,770	98.8%	○		111.0%
プロパン	kg	324,411	321,167	212,977	65.7%	○		73.8%
フォークリフト 用LPG	kg	20,480	20,275	12,285	60.0%	○		67.4%
ガソリン	ℓ	12,075	11,954	9,916	82.1%	○		92.3%
軽油	ℓ	1,378	1,364	1,199	87.0%	○		97.8%
②化学物質の削減 メッキ工程で排出されるPRTR対象物質は日常における「適正管理」を目標通り達成しました。								
水酸化 ナトリウム	kg	10,850	10,742	10,800	99.5%	△	取引先の仕様により削減が困難	111.8%
硝酸	kg	1,225	1,213	800	65.3%	○		73.4%
硫酸	kg	8,100	8,019	9,225	113.9%	×	取引先の仕様により削減が困難	128.0%
③総排水量の削減	m³	23,100	22,869	22,820	98.8%	○		111.0%
④産業廃棄物 最終処分量削減								
廃プラ・木屑	t	30.04	29.74	26.95	89.7%	○		100.8%
スラッジ・汚泥	t	43.5	43.1	40.6	93.3%	○		104.9%
廃油	t	34.4	34.1	48.8	141.9%	×	廃油のリサイクル化による	159.4%
⑤自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善								
顧客要求の 環境配慮に資 する製品対応	%	100.0	100.0	100.0	100.0%	○		

※1 原単位(売上比率)に変換とは「2018年度基準実績との比較値」× $\frac{2019年度売上高(8,570百万円)}{2018年度売上高(9,629百万円)}$

※2 判定基準 ○:目標達成(99%以下) △:目標未達(99%超過～100%以下) ×:目標未達(100%超過)

※3 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.475kg-Co2/Kwh(東京電力2018年度実排出係数)

⑦ー2. E A 2 1 環境負荷の実績 2 0 1 9 年度 (2019/4～2020/3)

月平均目標値：2 0 1 8 年度基準実績の9 9 %

単位未満切り捨て

品目	購入先：品名	単位	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	①	②	③	合計	日
稼働日数	採算表より	稼日	21	19	20	23	18	21	21	21	20	20	20	22	246	
売上予定	アメーバ総合表>予定. 総売上高	千円	602,732	581,818	652,372	876,008	715,598	805,658	698,433	729,991	741,736	662,301	611,725	789,315	8,467,687	7
売上実績	アメーバ総合表>実績. 総売上高	千円	644,023	610,983	656,258	978,947	692,309	801,244	686,063	709,150	730,680	636,916	623,352	811,050	8,580,975	7
購入電力	第1工場1	kwh	37,728.0	33,864.0	41,376.0	47,088.0	34,488.0	43,656.0	37,896.0	35,136.0	35,784.0	37,200.0	36,864.0	36,216.0	457,296.0	1
	第1工場2	kwh	48,900.0	46,332.0	54,468.0	59,736.0	42,180.0	48,984.0	48,900.0	48,936.0	50,400.0	52,344.0	52,104.0	49,752.0	603,036.0	1
	第2工場	kwh	78,288.0	82,560.0	80,496.0	95,568.0	82,296.0	97,704.0	97,008.0	98,976.0	97,512.0	100,320.0	96,288.0	100,224.0	1,107,240.0	1
	第3工場1	kwh	160,470.0	149,940.0	178,272.0	199,008.0	149,454.0	179,622.0	160,452.0	170,424.0	153,252.0	133,020.0	151,930.0	151,110.0	1,926,954.0	1
	第3工場2	kwh	44,613.0	44,379.0	50,184.0	75,537.0	60,138.0	66,789.0	55,620.0	54,144.0	52,173.0	56,475.0	55,917.0	57,978.0	673,947.0	1
	第5工場	kwh	60,516.0	54,720.0	59,778.0	63,864.0	58,248.0	62,136.0	57,204.0	56,790.0	58,392.0	59,472.0	56,898.0	60,282.0	708,300.0	1
	(御殿場)	kwh	72,824.0	57,617.5	54,232.6	62,682.2	53,469.0	64,733.1	59,791.0	58,431.4	56,197.0	41,605.9	40,409.1	51,400.9	673,393.7	5
	飯塚倉庫	kwh	211.0	255.0	272.0	397.0	439.0	471.0	277.0	296.0	220.0	286.0	243.0	198.0	3,565.0	10
	【使用量合計】	kwh	503,550.0	469,667.5	519,078.6	603,880.2	480,712.0	564,095.1	517,148.0	523,133.4	503,930.0	480,722.9	480,653.1	507,160.9	6,153,731.7	
	月平均目標値	kwh	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	578,442.3	6,941,308	
	飯塚倉庫期間	期間	4/9～5/9	5/10～6/9	6/10～7/8	7/9～8/7	8/8～9/8	9/9～10/8	10/9～11/10	11/11～12/9	12/10～1/9	1/10～2/6	2/7～3/8	3/9～4/8		
	料金^鉄工団地：基本料金+使用料金	円	8,815,803	8,542,481	9,299,787	11,044,792	9,011,715	10,210,904	9,016,984	9,070,541	8,771,712	8,538,986	8,429,423	8,727,536		
	料金^（御殿場）：ワイズ電力料金計算シート	円	1,578,403	1,280,715	1,260,441	1,382,993	1,282,618	1,412,618	1,259,448	1,252,186	1,188,234	914,090	909,864	1,083,975		
	料金^飯塚倉庫：税込	円	6,515	7,691	8,130	11,911	13,120	14,047	8,214	8,702	6,604	8,375	7,216	5,996		
	【料金合計】	円	10,400,721	9,830,887	10,568,358	12,439,696	10,307,453	11,637,569	10,284,646	10,331,429	9,966,550	9,461,451	9,346,503	9,817,507	0	
重油	75l. 鈴与：重油	ℓ	3,890	3,700	3,250	3,040	2,710	3,690	3,820	3,990	4,370	4,500	4,930	4,880	46,770	7
	月平均目標値	ℓ	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	3,905.5	46,866	
	料金^鈴与	円	294,690	288,710	232,375	211,070	193,380	252,900	271,300	281,380	314,640	350,240	360,470	317,840		
二酸化炭素ガス	11l. 東海溶材：炭酸ガス 本×30kg	kg	960	1,110	900	1,110	1,020	840	1,320	1,020	1,200	870	960	1,170	12,480	7
プロパン	16l. 日ガス：プロパン	m³	6,796	4,502	6,229	6,917	6,855	7,491	5,924	6,115	6,670	4,719	6,399	6,731	75,348	7
	16l. 日ガス 1m³=1.99	kg	13,524.0	8,959.0	12,395.7	13,764.8	13,641.5	14,907.1	11,788.8	12,168.9	13,273.3	9,390.8	12,734.0	13,394.7	149,942.5	7
	860. TOKAI(御殿場)	kg	7,395.0	4,906.8	5,434.6	6,107.4	3,891.8	5,411.4	6,037.8	5,237.4	5,382.4	4,326.8	4,709.6	4,193.4	63,034.4	
	【使用量合計】	kg	20,919.0	13,865.8	17,830.3	19,872.2	17,533.3	20,318.5	17,826.6	17,406.3	18,655.7	13,717.6	17,443.6	17,588.1	212,976.9	
	月平均目標値	kg	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	26,763.9	321,166.8	
	料金^日ガス	円	1,083,963	741,029	957,397	933,795	881,554	928,884	768,342	861,603	963,148	755,984	1,078,872	1,027,824	10,982,395	
	料金^TOKAI(御殿場) 検収金額	円	735,418	683,231	446,086	418,881	264,054	351,003	420,258	396,848	420,537	387,185	417,403	460,555	5,401,459	
	【料金合計】 日ガス+TOKAI	円	1,819,381	1,424,260	1,403,483	1,352,676	1,145,608	1,279,887	1,188,600	1,258,451	1,383,685	1,143,169	1,496,275	1,488,379	16,383,854	
	静岡ガス	期間	3/14～4/13	4/14～5/14	5/15～6/13	6/14～7/13	7/14～8/14	8/15～9/13	9/14～10/14	10/15～11/13	11/14～12/13	12/14～1/14	1/15～2/13	2/14～3/13		
	>第3手洗場	m³	7.1	5.1	5.0	5.3	3.0	2.6	3.8	5.7	6.8	6.8	7.9	7.9	67.0	29
	>第5手洗場	m³	17.5	10.4	10.0	7.0	5.1	3.6	5.6	9.9	17.6	11.7	17.1	16.7	132.2	29
	日ガス+静岡ガス=小計	m³	6,820.6	4,517.5	6,244.0	6,929.3	6,863.1	7,497.2	5,933.4	6,130.6	6,694.4	4,737.5	6,424.0	6,755.6	75,547.2	
	1m³=1.99kg	kg	13,573	8,990	12,426	13,789	13,658	14,919	11,807	12,200	13,322	9,428	12,784	13,444	150,339	
L P G	75l. 鈴与：フォーク	kg	1,246.0	1,140.0	1,200.0	1,290.0	945.0	1,185.0	1,185.0	1,050.0	870.0	765.0	660.0	749.0	12,285.0	7
	月平均目標値	kg	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	1,689.5	20,274.0	
	料金	円	141,653	131,445	131,958	131,124	93,969	114,689	118,330	109,513	92,792	85,133	74,160	80,147		
ガソリン・軽油	SMAポート レギュラー+ハイオク	ℓ	107.42	251.51	104.64	173.20	147.52	60.02	62.00	30.39	77.86	80.48	26.85	50.81	1,173	20
	料金^税抜	円	14,614	33,699	14,230	23,531	19,470	7,862	8,060	3,981	10,199	10,623	3,624	6,705		
	SMAポート 軽油	ℓ	41.08	0.00	0.00	46.42	56.91	0.00	0.00	0.00	0.00	119.42	0.00	40.91	305	20
	料金^税抜	円	3,487	0	0	3,987	4,831	0	0	0	0	14,983	0	4,827		
	JCB レギュラー+ハイオク	ℓ	795.09	568.04	779.73	858.62	740.26	788.36	867.68	572.61	877.54	707.10	582.21	606.36	8,744	27
	料金	円	107,337	76,855	105,744	112,882	96,449	109,146	125,986	81,743	128,040	104,671	83,890	83,687		
	JCB 軽油	ℓ	60.82	85.69	46.00	106.41	0.00	39.37	34.92	113.10	47.00	47.04	188.45	126.39	895	27
	料金	円	6,554	9,233	4,940	12,461	0	4,370	4,016	12,940	5,358	5,692	22,013	13,965		
	ガソリン合計 レギュラー+ハイオク	ℓ	902.51	819.55	884.37	1,031.82	887.78	848.38	929.68	603.00	955.40	787.58	609.06	657.17	9,916	27
	軽油合計	ℓ	101.90	85.69	46.00	152.83	56.91	39.37	34.92	113.10	47.00	166.46	188.45	167.30	1,200	27
	【使用量合計】	ℓ	1,004.41	905.24	930.37	1,184.65	944.69	887.75	964.60	716.10	1,002.40	954.04	797.51	824.47	11,116	
	月平均目標値	ℓ	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	1,109.9	13,319	

品目	購入先：品名	単位	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	①	②	③	合計	日
灯油	【料金合計】レギュラー+ハイオク	円	121,951	110,554	119,974	136,413	115,919	117,008	134,046	85,724	138,239	115,294	87,514	90,392	0	
	【料金合計】軽油	円	10,041	9,233	4,940	16,448	4,831	4,370	4,016	12,940	5,358	20,675	22,013	18,792	0	
	680.出光：灯油	ℓ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,212.0	1,874.0	2,778.0	2,473.0	1,313.0	9,650.0	7
	879.中村石油（御殿場）	ℓ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	573.0	350.0	0.0	0.0	923.0	
	【使用量合計】	ℓ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,212.0	2,447.0	3,128.0	2,473.0	1,313.0	10,573.0	
	月平均目標値	ℓ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,466.8	2,466.8	2,466.8	2,466.8	2,466.8	12,334.0	
	料金`出光	円	0	0	0	0	0	0	0	100,596	155,542	241,686	210,205	103,727	811,756	
	料金`中村石油	円	0	0	0	0	0	0	0	0	50,424	29,750	0	0	80,174	
	【料金合計】	円	0	0	0	0	0	0	0	100,596	205,966	271,436	210,205	103,727	891,930	
上水	使用水量等お知らせ（2ヶ月毎）	期間	3/6～5/7		5/7～7/5		7/5～9/10		9/10～11/6		11/6～1/9		1/9～3/6			
	第1工場（421）	m ³	131		166		146		136		154		149		882	7
	第2工場（456）	m ³	115		111		104		97		134		121		682	7
	第3工場（464）	m ³	107		119		129		116		122		115		708	7
	第5工場（499）	m ³	128		147		197		140		130		126		868	7
	【合計】	m ³	481		543		576		489		540		511		3,140	7
	2ヶ月平均目標値	m ³	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	564.3	10,176	
	料金：上水道・下水道…税込	円	70,209	58,286	77,574	66,991	81,495	71,624	71,175	59,409	78,650	67,804	75,141	63,657		
地下水	80m ³ ×稼働日数	m ³	1,680	1,520	1,600	1,840	1,440	1,680	1,680	1,680	1,600	1,600	1,600	1,760	19,680	1
水酸化ナトリウム 袋×25kg	16.ｲﾔﾏ：苛性ソーダ	kg	700	1,650	1,825	600	725	400	550	675	950	900	850	975	10,800	7
	月平均目標値	kg	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	895.1	10,741	
硝酸	16.ｲﾔﾏ：硝酸 本×25kg	kg	100	100	50	50	100	50	75	75	25	75	50	50	800	7
硫酸 J43	16.ｲﾔﾏ：硫酸工用 kg+本(@2125)×25kg	kg	800	800	800	1,000	600	800	950	625	800	700	650	700	9,225	7
SG-339(六価クロム)	16.ｲﾔﾏ：SG-339 個×25kg	kg	275	75	50	50	50	50	25	50	75	75	50	25	850	7
ZT-444(三価クロム)	16.ｲﾔﾏ：ZT-444 個×20kg	kg	180	200	220	300	320	400	240	240	240	280	300	280	3,200	7
Znボール（亜鉛）	16.ｲﾔﾏ：Znボール	kg	1,000	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	7,000	7
廃プラ・木屑 混合物	廃プラ	kg	720	300	900	1,105	700	1,130	690	1,590	100	690	830	2,840	11,595	27
	木屑	kg	1,110	510	0	1,480	510	510	630	450	590	510	410	0	6,710	27
	混合物	kg	0	2,040	0	2,400	0	0	2,050	0	0	2,160	0	0	8,650	
	【合計】	kg	1,830	2,850	900	4,985	1,210	1,640	3,370	2,040	690	3,360	1,240	2,840	26,955	
	月平均目標値	kg	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	2,478.3	29,740	
スラッジ・汚泥	バレルスラッジ	kg	2,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,510	27
	汚泥	kg	0	4,420	3,920	4,480	0	5,040	0	4,580	4,740	5,150	5,780	0	38,110	27
	【合計】	kg	2,510	4,420	3,920	4,480	0	5,040	0	4,580	4,740	5,150	5,780	0	40,620	
	月平均目標値	kg	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	3,591.6	43,099	
廃液	廃液（強アルカリ、六価クロム）（強酸・鉛）	kg	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
廃油	廃油	ℓ	1,900	9,300	2,700	1,800	7,800	3,930	1,620	5,700	2,000	9,400	2,700	0	48,850	27
	月平均目標値	ℓ	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	2,841.6	34,099	

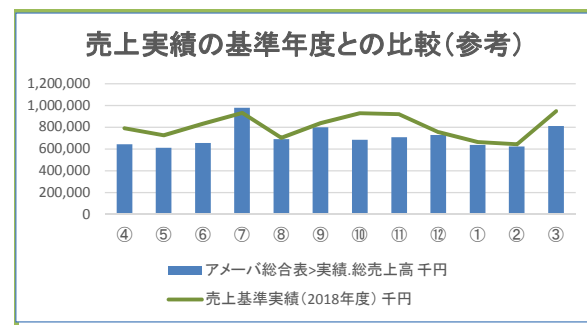
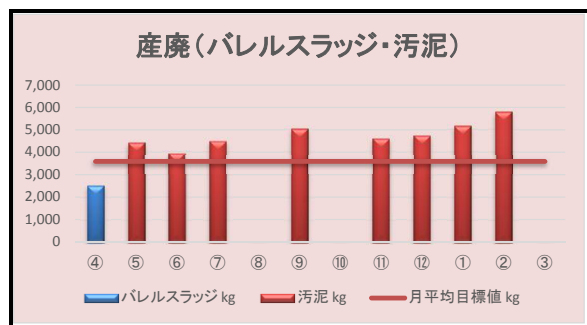
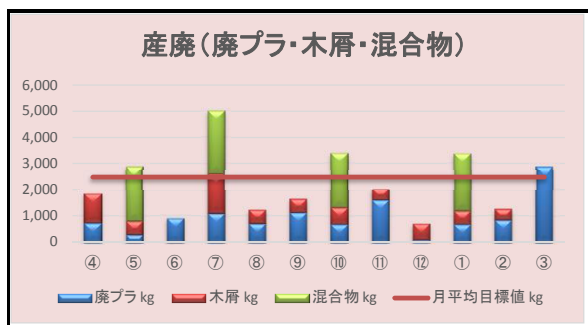
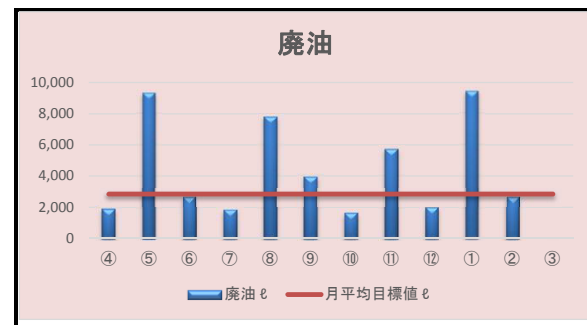
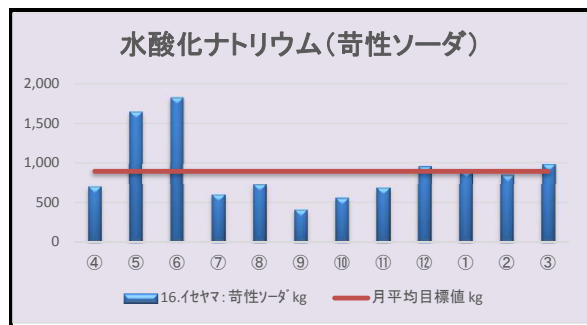
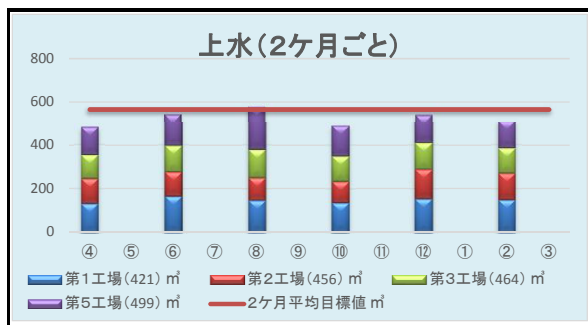
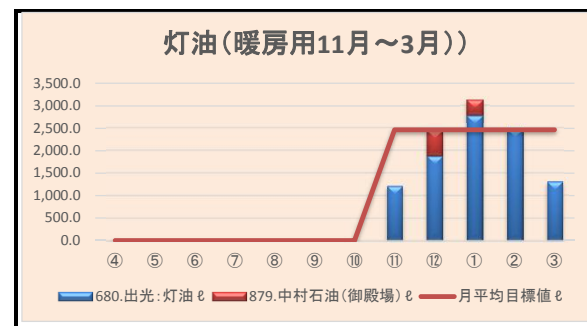
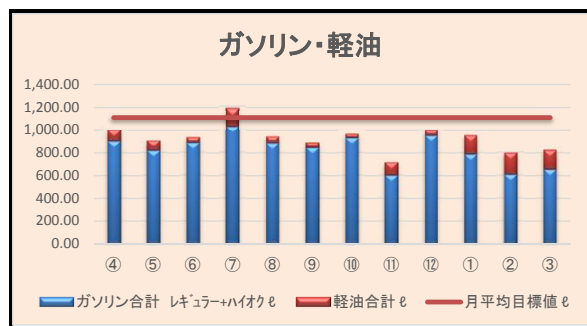
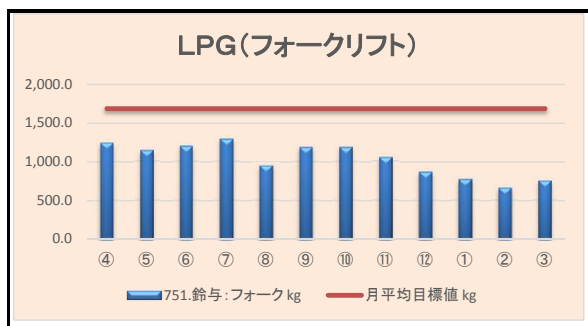
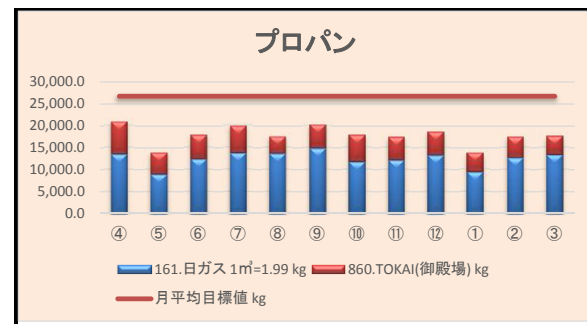
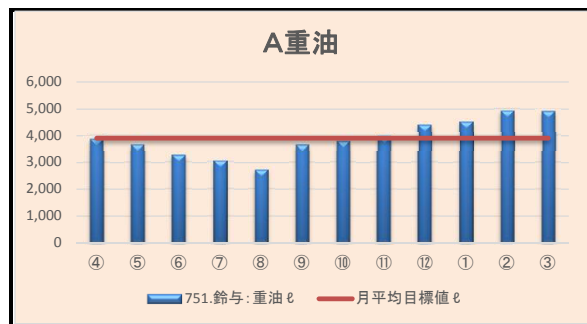
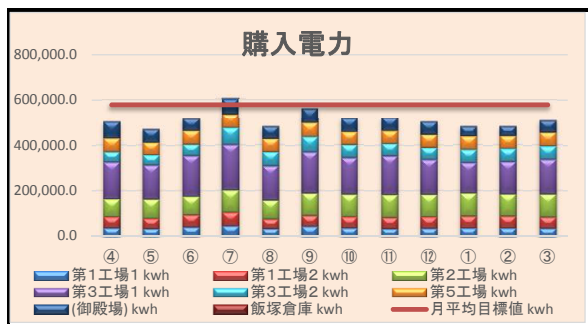
購入電力 料金`鉄工団地：基本料金＋使用料金で違約金、設備管理費は含まない。

参考	売上基準実績（2018年度）	千円	790,145	725,988	833,751	931,656	702,610	837,615	929,985	920,139	755,014	664,726	643,491	949,983	9,685,103	7
----	----------------	----	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---

掲示期限：2020年4月
 経営会議前日まで
 改廃

⑦-3. E A 2 1 環境負荷の実績 2019/4~2020/3

月平均目標値：2018年度基準実績の99%



揭示期限：2020年4月 経営会議前日まで 改廃

⑦-4. 環境経営目標・計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営目標・計画

1. 電力使用量の削減

主な取組内容	1. 冷暖房基準（冷房28℃、暖房20℃）を徹底。 2. 作業服のクールビズとしてマーク入りポロシャツ＆Ｔシャツ促進。 3. 事業計画として業務の効率化（合理化）を推進し残業を減らした。 4. 圧縮空気のエア漏れ点検と必要に応じた対策に取り組んだ。 5. トラックヤード天井の水銀灯をＬＥＤ照明に更新。
取組結果	目標：月平均578kwh(単位)以下 ■ 電気使用量 — 月平均目標値
評価	2018年度基準実績（7,011千kwh）の99%目標（6,941千kwh）に対し、 2019年度実績（6,153千kwh）の87.8%と目標を達成した。 これは、業務の効率化（合理化）の成果と言える。 
次年度の 取組内容 (是正処置)	2019年度の取組内容に加え、補助金を利用したＬＥＤ照明に変更する。 業務の効率化（合理化）をさらに推進し残業を削減、さらに夜勤を抑制する。

2. 燃料関係（灯油：暖房用）の削減

主な取組内容	業務の合理化による残業時間の削減に取り組み、結果として 暖房用ストーブ（灯油）の使用時間削減に取り組んだ。
取組結果	目標：5ヶ月平均2,466ℓ ■ 灯油(暖房用)使用量(11月～3月) — 月平均目標値
評価	2018年度基準実績（12,459ℓ）の99%目標（12,334ℓ）に対し、 2019年度実績（10,573ℓ）の84.9%で目標を達成した。 これは、業務の合理化による残業時間の削減の成果と言える。 
次年度の 取組内容 (是正処置)	燃料の必要最低限数値を把握し、使用量削減に努める。 建物の不備箇所を点検し必要に応じた対策をする。

3. 燃料関係（A重油）の削減

主な取組内容	製造工程の生産性を向上させ、ボイラー使用率（A重油）の削減に取り組んだ。 上期は順調でしたが、下期は売り上げ増に比例しA重油の使用量が増えた。
取組結果	 目標: 月平均3,905ℓ(単位) 以下
評価	2018年度基準実績（47,340ℓ）の99%目標（46,867ℓ）に対し、 2019年度実績（46,770ℓ）の98.8%と目標を達成することが出来た。  これは、製造工程の生産性を向上させた成果と言える。
次年度の取組内容	更なる生産性向上活動に努めボイラー使用率（A重油）を削減させる。

4. 燃料関係（プロパンガス）の削減

主な取組内容	熱処理ブレージング工程等、数々の生産性向上活動に取り組んだ。
取組結果	 目標: 月平均26,763kg(単位) 以下
評価	2018年度基準実績（324,411kg）の99%目標（321,167kg）に対し、 2019年度実績（212,977kg）の65.7%と目標を達成することが出来た。  これは、熱処理工程等の生産性向上の成果と言える。
次年度の取組内容 (是正処置)	更なる生産性向上活動に努めプロパンガス使用率を削減させる。

5. 燃料関係（フォークリフト用LPG）の削減

主な取組内容	物流の合理化活動に取り組みフォークリフト用LPG使用率の削減を追求した。																																							
	<table><caption>フォークリフト用LPG購入量（単位：kg）</caption><thead><tr><th>月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr></thead><tbody><tr><td>購入量</td><td>1246</td><td>1140</td><td>1200</td><td>1290</td><td>945</td><td>1185</td><td>1185</td><td>1050</td><td>870</td><td>765</td><td>660</td><td>749</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="12">1,689 (月平均)</td></tr></tbody></table> 目標：月平均1,689kg(単位)以下	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	購入量	1246	1140	1200	1290	945	1185	1185	1050	870	765	660	749	目標値	1,689 (月平均)											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																												
購入量	1246	1140	1200	1290	945	1185	1185	1050	870	765	660	749																												
目標値	1,689 (月平均)																																							
取組結果 & 評価	2018年度基準実績（20,480kg）の99%目標（20,275kg）に対し、2019年度実績（12,285kg）の60.0%と目標を達成することが出来た。これは社内の物流合理化での見直しでフォークリフト2台をバッテリー式に交換した結果も含む。 																																							
次年度の 取組内容 (是正処置)	更なる物流向上活動に努めフォークリフトのLPG使用率を削減させる。																																							

6. 燃料関係（ガソリン）の削減

主な取組内容	社有車を適正グループに配置し、11台から10台に1台削減 および社有車1台をエコカー（e-POWER）に更新 さらに新規開拓営業範囲を適正に狭めた。
取組結果	1200 1000 800 600 400 200 0 902 819 884 1031 887 848 929 603 955 787 609 657 4月5月6月7月8月9月10月11月12月1月2月3月 目標：月平均1,109ℓ(単位)以下 ガソリン購入量 月平均目標値
評価	2018年度基準実績（12,075ℓ）の99%目標（11,954ℓ）に対し、 2019年度実績（9,916ℓ）で82.1%と目標を達成することが 出来た。これは、適正な見直しにより社有車を1台削減した成果と言える。
次年度の 取組内容 (是正処置)	➢ 随時燃費効率の良い自動車に入替（中古車含む） ➢ 本社と御殿場事業所間の双方の往来回数を削減。

7. 燃料関係（軽油）の削減

主な取組内容	トラックでの運搬業務率を向上させ軽油使用率の削減に努めた。
取組結果	目標：月平均113ℓ(単位)以下 ■ 軽油の購入量 — 月平均目標値
取組結果 & 評価	2018年度基準実績（1,378ℓ）の99%目標（1,364ℓ）に対し、 2019年度実績（1,199ℓ）で87.0%と目標達成をする事が出来た。
次年度の 取組内容 (是正処置)	常に軽油の使用量の削減に努める。

8. 上水使用量の削減

主な取組内容	水漏れ箇所の把握と対策 2か月毎 節水表示による周知
取組結果	目標 2ヶ月ごと合計540m³(単位)以下 ■ 上水使用量(2か月合計) — 2ヶ月平均目標値
評価	2018年度基準実績（3,420m³）の99%目標（3,385m³）に対し、 2019年度実績（3,140m³）で91.8%と目標を達成することが出来た。
次年度の 取組内容 (是正処置)	上水使用量の削減に取り組み、必要最低限を追求する。

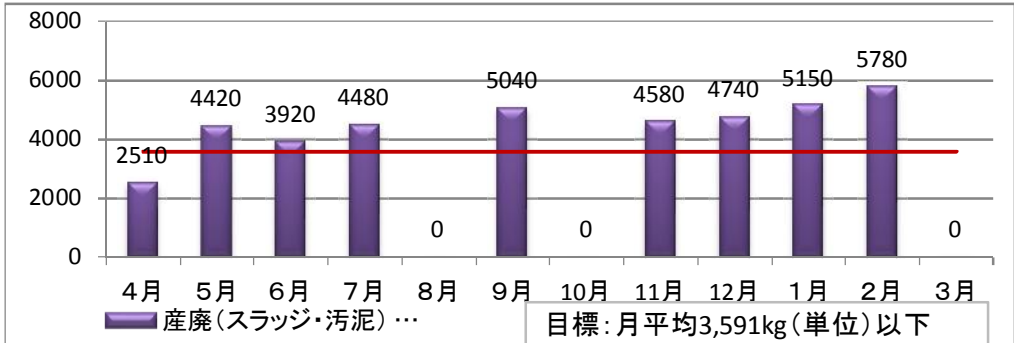
9. 化学物質（水酸化ナトリウム：苛性ソーダ）使用量の削減

主な取組内容	化学物質（水酸化ナトリウム：苛性ソーダ）の使用量削減をするべく 生産工程の不良品にならない程度の必要最低限の使用量に挑戦。																										
取組結果	目標: 月平均895kg(単位)以下 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)購入量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>700</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1650</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1820</td></tr> <tr><td>7月</td><td>600</td></tr> <tr><td>8月</td><td>725</td></tr> <tr><td>9月</td><td>400</td></tr> <tr><td>10月</td><td>550</td></tr> <tr><td>11月</td><td>675</td></tr> <tr><td>12月</td><td>950</td></tr> <tr><td>1月</td><td>900</td></tr> <tr><td>2月</td><td>850</td></tr> <tr><td>3月</td><td>975</td></tr> </tbody> </table> ■ 水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)購入量 — 月平均目標値	月	水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)購入量 (kg)	4月	700	5月	1650	6月	1820	7月	600	8月	725	9月	400	10月	550	11月	675	12月	950	1月	900	2月	850	3月	975
月	水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)購入量 (kg)																										
4月	700																										
5月	1650																										
6月	1820																										
7月	600																										
8月	725																										
9月	400																										
10月	550																										
11月	675																										
12月	950																										
1月	900																										
2月	850																										
3月	975																										
評価	2018年度基準実績（10,850kg）の99%目標（10,742kg）に対し、 2019年度実績（10,800kg）の99.5%と目標を達成する事が できなかった。これは取引先の仕様により削減が困難！ メッキ工程の化学薬品の管理については使用量、購入量、在庫量の 管理を行っている。																										
次年度の 取組内容 (是正処置)	水酸化ナトリウムの使用量は自らの判断では難しいですが、管理確認を 定期的する。																										

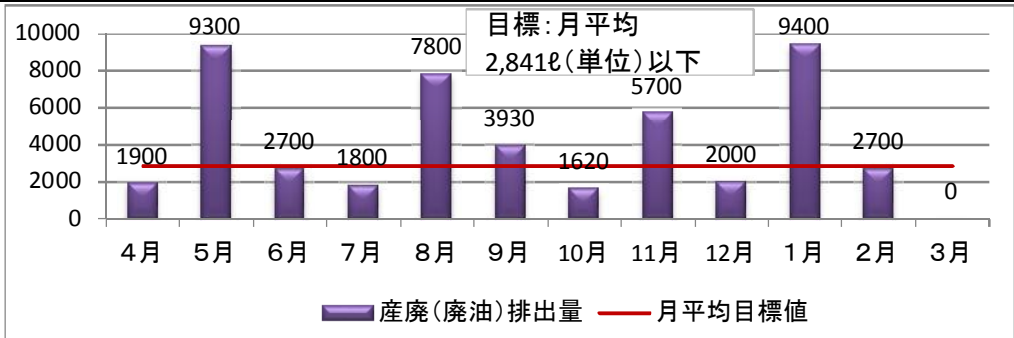
10. 産業廃棄物（廃プラ・木屑）排出量の削減

主な取組内容	産業廃棄物（廃プラ・木屑）排出量の削減に取り組んだ。 ・ 廃プラBOX（8㎡）に混ざってしまう金属、可燃物等の分別を展開し、 最終処分埋め立ての排出量削減に取り組んだ。																										
取組結果	目標: 月平均2,478kg(単位)以下 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>産廃(廃プラ・木屑)排出量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>1830</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2850</td></tr> <tr><td>6月</td><td>900</td></tr> <tr><td>7月</td><td>4985</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1210</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1640</td></tr> <tr><td>10月</td><td>3370</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2040</td></tr> <tr><td>12月</td><td>690</td></tr> <tr><td>1月</td><td>3360</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1240</td></tr> <tr><td>3月</td><td>2840</td></tr> </tbody> </table> ■ 産廃(廃プラ・木屑)排出量 — 月平均目標値	月	産廃(廃プラ・木屑)排出量 (kg)	4月	1830	5月	2850	6月	900	7月	4985	8月	1210	9月	1640	10月	3370	11月	2040	12月	690	1月	3360	2月	1240	3月	2840
月	産廃(廃プラ・木屑)排出量 (kg)																										
4月	1830																										
5月	2850																										
6月	900																										
7月	4985																										
8月	1210																										
9月	1640																										
10月	3370																										
11月	2040																										
12月	690																										
1月	3360																										
2月	1240																										
3月	2840																										
評価	2018年度基準実績（30,040kg）の99%目標（29,740kg）に対し、 2019年度実績（26,950kg）の89.7%と目標を達成することが 出来た。 これは、産廃物の分別が展開されたものと推測。																										
次年度の 取組内容 (是正処置)	次年度は産業廃棄物（廃プラ）のプラスチックのみの分別による 再利用化を目指し、環境への負荷削減に取り組む。																										

1 1. 産業廃棄物（スラッジ・汚泥）排出量の削減

主な取組内容	スラッジと汚泥を加算しグラフで表した。 生産性向上で排出量削減を狙う。																											
取組結果	 <table><thead><tr><th>月</th><th>産廃(スラッジ・汚泥) ...</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>2510</td></tr><tr><td>5月</td><td>4420</td></tr><tr><td>6月</td><td>3920</td></tr><tr><td>7月</td><td>4480</td></tr><tr><td>8月</td><td>0</td></tr><tr><td>9月</td><td>5040</td></tr><tr><td>10月</td><td>0</td></tr><tr><td>11月</td><td>4580</td></tr><tr><td>12月</td><td>4740</td></tr><tr><td>1月</td><td>5150</td></tr><tr><td>2月</td><td>5780</td></tr><tr><td>3月</td><td>0</td></tr></tbody></table> 目標: 月平均3,591kg(単位)以下		月	産廃(スラッジ・汚泥) ...	4月	2510	5月	4420	6月	3920	7月	4480	8月	0	9月	5040	10月	0	11月	4580	12月	4740	1月	5150	2月	5780	3月	0
月	産廃(スラッジ・汚泥) ...																											
4月	2510																											
5月	4420																											
6月	3920																											
7月	4480																											
8月	0																											
9月	5040																											
10月	0																											
11月	4580																											
12月	4740																											
1月	5150																											
2月	5780																											
3月	0																											
評価	2018年度基準実績（43,500kg）の99%目標（43,100kg）に対し、 2019年度実績（40,600kg）で93.3%と目標を達成することが出来た。																											
次年度の 取組内容 (是正処置)	次年度はスラッジまたは汚泥のどちらか単独で表し見えるようにしたい。																											

1 2. 産業廃棄物（廃油）排出量の削減

主な取組内容	廃油置場を整備し、油性と水溶性の分別を徹底した。 オイル板内の油漏れは業者にバキュームで回収する様依頼した。																												
取組結果	<table><thead><tr><th>月</th><th>産廃(廃油)排出量</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>1900</td></tr><tr><td>5月</td><td>9300</td></tr><tr><td>6月</td><td>2700</td></tr><tr><td>7月</td><td>1800</td></tr><tr><td>8月</td><td>7800</td></tr><tr><td>9月</td><td>3930</td></tr><tr><td>10月</td><td>1620</td></tr><tr><td>11月</td><td>5700</td></tr><tr><td>12月</td><td>2000</td></tr><tr><td>1月</td><td>9400</td></tr><tr><td>2月</td><td>2700</td></tr><tr><td>3月</td><td>0</td></tr></tbody></table> 目標: 月平均 2,841ℓ(単位) 以下 ■ 産廃(廃油)排出量 — 月平均目標値			月	産廃(廃油)排出量	4月	1900	5月	9300	6月	2700	7月	1800	8月	7800	9月	3930	10月	1620	11月	5700	12月	2000	1月	9400	2月	2700	3月	0
月	産廃(廃油)排出量																												
4月	1900																												
5月	9300																												
6月	2700																												
7月	1800																												
8月	7800																												
9月	3930																												
10月	1620																												
11月	5700																												
12月	2000																												
1月	9400																												
2月	2700																												
3月	0																												
評価	2018年度基準実績（34,400ℓ）の99%目標（34,100ℓ）に対し、2019年度実績（48,800ℓ）の141.9%と目標を達成することが出来ない。しかし、これは収集業者都合でのバキューム車で一括処理し年をまたぐので一概に評価出来ない。 																												
次年度の取組内容 (是正処置)	担当者任せで廃油回収のタイミングにバラツキがある。 その仕組みを調査し回収方法の適正を追求。																												

13. 環境に配慮した製品を生産及びサービスを推進する

主な取組内容	中部産業連盟のコンサルティング指導による”VM本賞”（5S・VM）を受賞し、環境の整備を含めた5S・VM（見える化）を継続展開 一部として ➢品質改善により工程内不良・流出不良等が減り結果、環境への負荷量削減となった。 ➢リードタイム短縮改善や、自動化設備の開発・導入等により、残業時間の削減となり結果、環境への負荷量削減となった。
評価	前年度に引き続き、5S・VM等の全社活動の結果、廃棄物の分別、フォークリフト運搬範囲減少、燃料・電気・水等資源の節約など環境への配慮が向上した。また、見える化により諸々の数値が見える様になり合理化展開が進み残業時間が削減され省エネとなった。
次年度の 取組内容 (是正処置)	➢2019年度の取組に加え、改めて環境対応（エコロジー面）をテーマに取り上げ、高効率・高生産性（省エネルギー）・環境物質の管理（環境負荷）再生可能エネルギー・リサイクル材料等変化する社会情勢に対応。 ➢”VM本賞”（5S・VM）の上級”VMプレミアム本賞”を目指す。

環境関連法規制等の取りまとめ表（遵守評価記録）

評価者：総務主担
判定：○（適合） ×（不適合） －（非該当）

No.	法規制等の名称	該当する要求事項（対応すべき事項）〈条項〉	該当する設備・項目 実施時期	判定根拠	判定	
					本社	御殿場
1	廃棄物処理法	一般廃棄物の収集業者への委託、許可の確認<法6条の2 6項>	一般廃棄物（可燃物等）	『産廃（許可証・契約書）管理表』確認 R2/3	○	○
		産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約1回/年 <法12条 5項>	産業廃棄物	『産廃（許可証・契約書）管理表』確認 R2/3	○	○
		産廃物の適正保管：掲示板表示<法12条 2項>⇒飛散・浸透防止、衛生管理	産廃置場（廃プラ、木屑、汚泥、廃油、金属くず等）	現地確認	○	○
		マニフェストの交付・保管 <法12条の3> <法12条の3 2項>⇒保管(5年)	産業廃棄物（廃プラ、木屑、汚泥、廃油、金属くず等）	『産業廃棄物管理票』確認 毎月	○	○
		産業廃棄物（マニフェスト）の交付状況の報告<法12条の3 7項> ⇒（各事業場ごと） 〆6/30	本社・御殿場事業所	『産廃管理票交付等状況報告書』の記録 R2/4	○	－
		特別管理産廃管理責任者の選任義務試験	対象外 汚泥（メッキスラッジ）	確認 R1/7 『試験成績書（汚泥）』確認 R1/11	○	○
		委託先業者の現地確認（優良業者は除外しても可）<県条例10条>		『処分場現地視察チェックシート』現地確認 R1/9 優良産廃処理業者認定の委託先業者は公開 情報確認で実地確認に代える	○	○
		多量排出事業者（前年度産廃発生量が1000トン/年以上または 特管産廃50トン/年以上）は減量計画を策定し報告		前年度産廃107トン、特管産廃0トンにて対象外	－	－
2	フロン排出抑制法					
		7.5kw以上50kw未満のエアコンは3年に1回以上の定期点検	クー（7.5kw以上 御殿場）	『環境などに関する法律・条例一覧表及び 届出認可確認チェックシート』（ワイズより継承）	－	○
		第一種特定製品は3ヶ月に1回以上の簡易点検（異音、外観損傷等） フロン類回収依頼時の委託確認書交付と引取証明書の保存3年 <法41条～45条>	エアコン7.5kw未満	『空調機 簡易点検表』R2/1、R2/4 『委託確認書、引取証明書』最終 H31/1 御殿場事業場は該当なし	○	○
		フロン類算定漏えい量等の報告義務 <法19条>		『フロン排出機器点検表』確認 R2/11 漏洩なし	○	○
3	省エネ法					
		第2種エネルギー管理指定工場 <法13条 令6条>	本社：年度の原油換算エネルギー使用量の 数値で1,500kℓ以上	第二種エネルギー管理指定工場 №6668222	該当	－
		エネルギー管理員の選任義務 <法14条>	特定事業者	H21/12より選任者の変更なし	○	－
		中長期計画書の提出 <法15条 1項>	特定事業者	『中長期計画書』提出 R1/7	○	－
4	P R T R 法	特定事業者のエネルギー使用状況の定期報告 <法16条 1項>		エネルギー使用状況の『定期報告書』提出 R1/7	○	－
5	大気汚染防止法	第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出 <法5条 2項>	亜鉛の水溶性化合物、 ナチルナフタレン	静岡県生活環境課へ届出	○	－
		性状・取扱いに関する情報（SDS）の受取…当社発行なし		SDSファイル	○	○
6	水質汚濁防止法	排出基準の遵守（排出濃度の測定・記録3年）	ボイラーばい煙量等測定	ばい煙量等測定結果確認	○	
		特定施設の届出 <法3条 2項>	乾燥炉？			
6	水質汚濁防止法	特定施設の届出：酸又はアルカリによる表面処理施設（特定施設） 点検	アルカリ洗浄機（御殿場） バレル研磨廃水処理施設：	放流水水質管理表 放流水水質計量4回/年 廃水処理施設点検結果報告書基準値以内	－	○
		事故時の処置、油脂類・有害化学物質の流出 <法14条の2>		事故の発生なし	○	○

環境関連法規制等の取りまとめ表（遵守評価記録）

評価者：総務主担

判定：○（適合） ×（不適合） －（非該当）

No.	法規制等の名称	該当する要求事項（対応すべき事項）〈条項〉	該当する設備・項目 実施時期	判定根拠	判定	
					本社	御殿場
		氏名等変更届〈法10条〉		富士宮市へ届出変更なし	○	－
		排水濃度の測定・記録3年、監視		計量証明書基準値以内	○	－
7	騒音規制法	規制基準値の遵守：騒音測定〈法5条〉	機械プレス	測定：	○	－
		特定施設の届出〈法6条〉	コンプレッサー	変更なし	○	○
		氏名等変更の届出〈法10条〉	富士宮市へ届出H9/3	変更なし	○	－
8	公害防止組織法	公害防止統括者の選任〈法3条 3項〉	特定工場 富士宮市へ届出 H18/6	変更なし	○	－
		公害防止統括者の代理者選任	特定工場 富士宮市へ届出 H18/6	変更なし	○	－
9	消防法	消防用設備等の点検・報告〈法17条の3〉	消火設備の定期点検		○	○
		設置届	乾燥設備：粉体塗装焼付炉170℃	消防組合へ届出H9/9	－	○
		事故時の処置〈法16条の3〉㊟危険物の流出その他の事故…	危険物の流出		○	○
		防火管理者の選任〈法8条〉	消防組合へ防火管理者選任届出	防火管理者（甲種）本社変更届 R1/10変更	○	○
	工業用水法	地下水採取量等報告義務〈県条例14条 4項〉	揚水設備設置者 報告H31/1	地下水採取量等報告書届出	○	－
	毒物・劇物取締法	危険物質の適正な保管基準	硫酸・塩酸		○	○
	土壤汚染対策法	特定施設廃止時は土壤汚染調査・報告		該当なし	○	○
	家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の適正な処理〈法6条〉		確認：指定家電廃棄時のリサイクル料金の支払い	○	○

環境関連法規への違反、訴訟は有りません！

⑨. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価及び見直しに必要な情報

1. 環境経営目標の達成状況
2019年度目標値は2018年度基準実績の99%としたことで、 15項目中12項目の目標を達成したが、3項目は未達である。 特に硫酸（化学物質）の使用量と廃油（産廃）の排出量が過剰でありその確認を要す
2. 環境経営計画の実施および運用結果
環境活動計画と次年度の活動計画の表がマンネリ 改めて御殿場事業所の環境経営システムを確認する必要がある
3. 環境関連法規等の遵守状況
環境関連法規等が常に最新のものとなるように仕組みの見直しを要す
4. 外部からの環境に関する苦情や要望等
最近では外部苦情を耳にする事はないが、無くて当たり前、苦情無きを継続の事

全体評価として、2018年度基準実績の99%は達成したが、新型コロナウイルスの影響による売上減の要因が大きいとその妥当性を見極めは難しい。

次年度（2020年度）は社長方針の一つである

『5S・VM活動の深化』を環境経営システムとしての課題とチャンスととらえ、儲かる5S・儲かるVMへの挑戦が必須

代表者による見直し

2019年度の結果を振り返って、次年度の取組を継続的に改善する為には・・・

項目	変更なし	変更あり	変更指示
環境経営方針	☒	☐	
環境経営目標	☐	☒	売上比率に近い数値として 2020年度目標基準は 直近の2019年度を用いること
環境経営計画	☒	☐	
環境関連法規等遵守状況	☐	☒	2020年度は環境関連法規等の 遵守状況の見える化をすること
実施体制	☒	☐	

カナエ工業株式会社

代表取締役社長 清 行雄